



## 設立趣意書

### 共に暮らし 共に育み 生きる喜びを

大森は、人口400人の山間にある小さな町です。江戸時代は石見銀山として世界に名を轟かせ、天領として栄えた大都市でした。

町並みは、江戸時代の風情が残り、伝統的建造物保存地区にも指定されています。小さな谷に流れる銀山川に沿ってできた町並みは道幅も狭く緩やかなカーブを描いています。城下町と違って、大森は身分が違う武士と町人が軒を連ねて共に暮らしていました。

大森は、鉱山の幕を下ろした近代以降、急速に過疎化が進みます。人口減少の中でも町民の誇りは風土として残り、日々の暮らしの中で脈々と受け継がれてきました。

近年、自然と調和した美しい暮らしと、人と人が繋がる暮らしに惹かれ、都市部から子育て家庭の移住者が相次ぎ賑わいを見せています。この地で生まれた子どもも移住してきた子どもも家庭や保育園だけではなく、地域から愛され共に愛情、友情、信頼を育てています。

社会福祉法人 石見銀山つむぐひびは、先人から受け継いだこの地で、この時代をより幸福に満たされ、人々が助け合い生きていけることを目的として設立いたします。

ユネスコ憲章(前文)には、『戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない』とあります。私たちの目的を達成する為に課題なのは、戦争＝人の心の中にある孤独だと考えています。

現代の日本にはこの孤独から生まれる不幸が沢山あります。私たちはこの不幸を小さなコミュニティで解決し、そしてより幸福な人生になるよう手を取り合います。

法人名「つむぐひび」は、私たちの理念「共に暮らし 共に育み 生きる喜びを」に基づいています。

過去・現在・未来へと持続的に幸福に満たされ、命の灯火を、かけがえのない日々を未来に紡いでいきます。『歴史を紡ぐ喜び』と『小さな町だからこそ育めるコミュニティ』『時代に寄り添った幸せの進化』を全ての人の幸福のために。

社会福祉法人 石見銀山つむぐひびは、社会福祉法人として公益性と透明性の高い確たる経営基盤を築きます。

私たちは、この町で暮らしながら、子どもから高齢者まで疾病・障がいに関わらず絆をつむぎ、より良い社会を未来に引きつぎます。

令和5年 10月 24日

法人の名称 社会福祉法人 石見銀山つむぐひび

設立代表者 三ッ井道廣